

道路工事現場における保安施設の設置基準

1 目的

道路工事及び占用工事(以下「道路工事等」という。)に起因する事故防止と安全で円滑な道路交通を確保するため、道路工事現場における保安施設(標示施設、防護施設等)の設置基準を定め、あわせて道路利用者等に対し道路工事等に関する情報をわかりやすく提供するものである。

2 適用範囲

相模原市において管理する道路上で行われる道路工事(道路管理者以外の者の行う工事並びに道路を使用しての委託等を含む)及び道路占用工事に適用する。

ただし、移動規制による道路工事等は対象外とする。

3 標示施設の設置

(1) 警戒、規制標識類

ア 工事現場の起終点には、様式番号<1>または<2>により設置する。ただし、短期間に完了する簡易な工事については、省略することができる。

イ 工事区間の長いもので、工区を複数に分けて施工する場合は工区ごとに設置する。

ウ 工事現場には必要に応じて様式番号<3-1>から<3-10>の標識類を所轄警察署の指示のもと、設置する。

(2) 工事標示板(工事中)

ア 工事現場の起終点には、様式番号<4>により設置する。

イ 工事区間の長いもので、工区を複数に分けて施工する場合は工区ごとに設置する。

ウ 短期間で完了する簡易な工事現場においては様式番号<9>に示す工事情報看板に変えることができる。設置する個所は当該個所の交通に支障がなく、通行者等にわかりやすいところとする。

エ 工事標示板の標示内容は別記1による。

オ 工事種別を明確にするために必要に応じて工事種別標示板を保護柵、誘導施設等に添加する。

(3) 迂回標示板

道路工事等のため迂回路を設ける場合は、様式番号＜ 5 ＞により当該迂回路を必要とする時間中、迂回路の入口に迂回路の地図等を標示する標示板を設置し、迂回路の途中の各交差点(迷い込むおそれのない小分岐を除く。)に様式番号＜ 6 ＞「迂回路標示板」を設置する。

(4) 予告標示板

道路工事等の予定を事前に周知させるため、様式番号＜ 7 ＞による標識を設置する。ただし、工事期間の短いもの、施工延長の短いものなどで所轄警察署が認めた場合は省略できる。

(5) 工事情報看板及び工事説明看板

工事現場には当該道路工事等に関する工事情報を提供するために、工事情報看板及び工事説明看板を次の各号により設置する。

ア 工事情報看板は道路工事等を開始する約 1 週間前から開始するまでの間、様式番号＜ 8 ＞により設置する。

イ 工事説明看板は道路工事等開始から終了までの間、様式番号＜ 9 ＞により設置する。

ウ 工事情報看板及び工事説明看板は運転手から看板内容が見えない位置に設置する。

エ 短期間に完了する軽易なものなどの特段の事由がある場合は工事情報看板を省略することができる。

4 防護施設の設置 (様式番号＜ 10-1 ＞から＜ 10-5 ＞)

防護施設(保安柵、誘導等標示施設、覆工、保安灯、注意灯、照明灯など)の設置は、「建設工事公衆災害防止対策要綱(土木工事編)」(平成 5 年 1 月 12 日建設省経建発第 1 号)による。

5 その他施設の設置(様式番号＜ 11-1 ＞から＜ 11-7 ＞)

その他必要に応じて、場所の明示予告、交通指導等の看板を適宜設置する。

6 管理

道路工事現場における保安施設は、堅固な構造として所定の位置に整然と設置して、修繕、塗装、清掃等の維持を常時行うほか、夜間においては遠方から確認し得るよう照明又は反射装置を施すものとする。

7 その他

道路工事等に伴い設置する規制標識等の一部標示施設の様式及び設置基準は「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」(昭和35年総理府・建設省令第3号)によるほか、この基準の定めによる。

附 則

- 1 この基準は平成19年4月1日から施行する。
- 2 経過措置として、保安施設の在庫の状況及び、すでに施行中の道路工事等については平成20年3月31日までの間は、この基準にかかわらず従前の例によることができる。ただし、汚損、破損等により更新の場合はこの基準による。

別記 1 工事標示板(工事中)の標示内容

原則として次に示す事項を標示するものとする。

(1) あいさつ文

『ご迷惑をおかけします』

(2) 工事内容

工事の内容、目的等を標示するものとする。

字数は最大 20 字程度で、簡潔な表記とする。

標示内容は別記 2 を参考とする。

(3) 工事期間

交通上支障を与える実際の工事期間のうち、工事終了日、工事時間帯等を標示するものとする。

(4) 工事種別

工事種別(舗装修繕工事等)を標示するものとする。

(5) 施工主体

道路管理者及び官公庁が行う場合は、施工主体(発注者)及びその連絡先を具体的に標示する。占有者が行う場合(官公庁を除く)は、発注者及びその連絡先を標示する。

(6) 施工業者

施工業者及びその連絡先を標示するものとする。

(7) 工事責任者

現場代理人(又は現場監督)氏名を標示するものとする。

(8) 相模原市指令番号

当該工事が占有工事又は承認工事の場合は、下端に占有工事許可番号または承認工事許可番号を標示する。

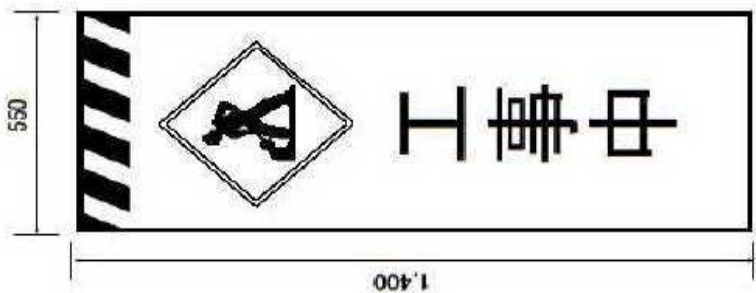
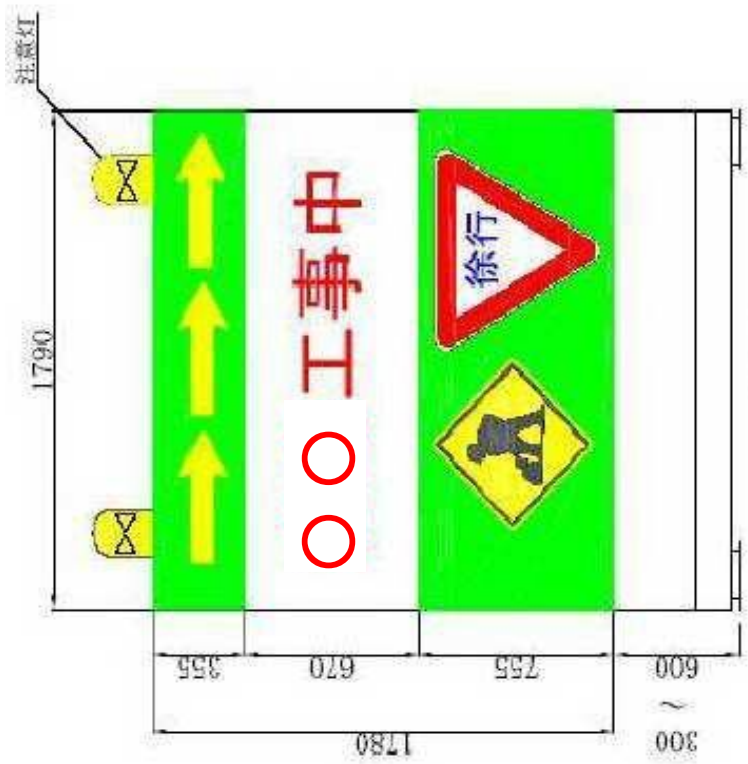
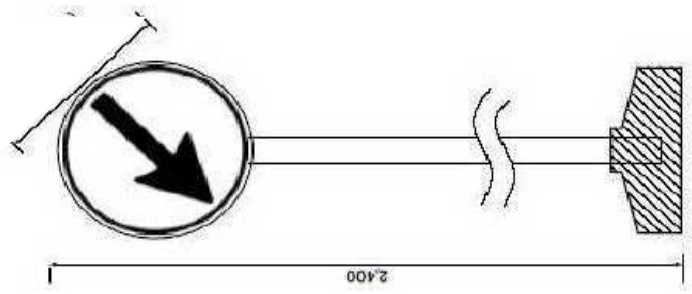
なお、標示板の設置にあたって色彩は、「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、「舗装修繕工事」等の工事種別については青地に白抜き文字とし、「○○○○をなおしています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。

また、縁の余白は 2 c m、縁線の太さは 1 c m、区画線の太さは 0.5 c m とする。

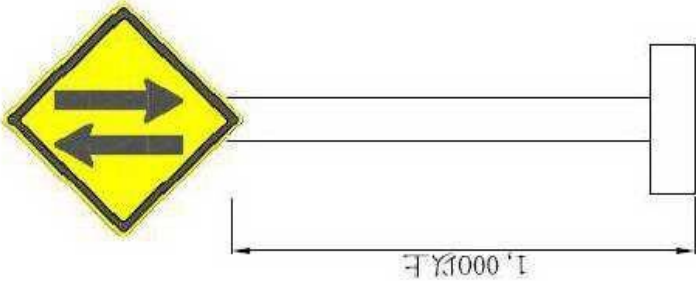
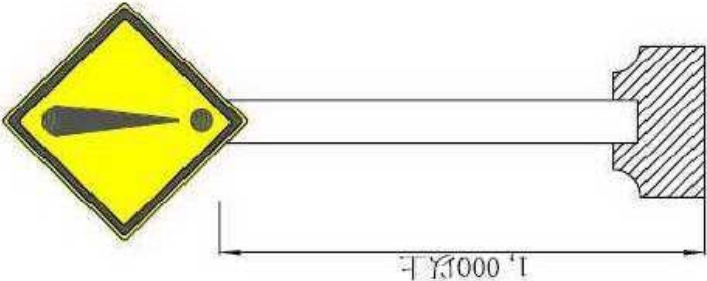


別記2 工事標示看板の工事内容の記載例

区分	主な工種	工事種別	標 示 例
道路工事	舗装補修工事	舗装補修工事	傷んだ舗装をなおしています
	舗装工事	舗装工事	騒音を少なくする舗装を行っています
	歩道工事	歩道工事	歩道を広げる工事を行っています
	道路維持工事	道路維持工事	傷んだガードレールをなおしています
	橋梁補強工事	橋梁補強工事	地震対策のため橋の補強を行っています
	塗装工事	塗装工事	傷んだ塗装を塗り替えています
	歩道切下げ工事	補修工事	歩道の切下げ工事を行っています
電力関係	供給関連工事	電気工事	電気設備の新設を行っています
	移設工事	電気工事	電気設備の移設を行っています
	通信ケーブル関連工事	電気工事	電気通信ケーブルの敷設を行っています
	埋設物調査工事	電気工事	埋設物の調査を行っています
	点検・補修工事	電気工事	電気設備の点検・補修を行っています
	無電柱工事	電気工事	電柱の撤去を行っています
	道路復旧工事	電気工事	電気設備の埋設跡の復旧を行っています
	緊急工事	電気工事	電気設備の緊急修理を行っています
電話・電気通信関係	供給関連工事	電話工事	電話設備の新設を行っています
	移設工事	電話工事	電話設備の移設を行っています
	通信ケーブル関連工事	電話工事	通信ケーブルの敷設を行っています
	埋設物調査工事	電話工事	埋設物の調査を行っています
	点検・補修工事	電話工事	電話設備の点検・補修を行っています
	無電柱工事	電話工事	電柱の撤去を行っています
	道路復旧工事	電話工事	電話設備の埋設跡の復旧を行っています
	緊急工事	電話工事	電話設備の緊急修理を行っています
	公衆電話BOX工事	電話工事	公衆電話BOXの撤去を行っています
ガス関係	供給関連工事	ガス工事	ガス管の撤去を行っています
	移設工事	ガス工事	ガス管の移設を行っています
	埋設物調査工事	ガス工事	埋設物の調査を行っています
	点検・補修工事	ガス工事	ガス管の点検・補修を行っています
	道路復旧工事	ガス工事	ガス管の埋設跡の復旧を行っています
	緊急工事	ガス工事	ガス漏れのため緊急修理を行っています
水道関係	供給関連工事	水道工事	水道管の取替を行っています
	移設工事	水道工事	水道管の移設を行っています
	埋設物調査工事	水道工事	埋設物の調査を行っています
	点検・補修工事	水道工事	水道管の点検・補修を行っています
	道路復旧工事	水道工事	水道管の埋設跡の復旧を行っています
	緊急工事	水道工事	漏水のため緊急修理を行っています
下水道関係	新設工事	下水道工事	下水道管の新設を行っています
	移設工事	下水道工事	下水道管の移設を行っています
	点検・補修工事	下水道工事	下水道管の点検・補修を行っています
	道路復旧工事	下水道工事	水道管の埋設跡の復旧を行っています
	緊急工事	下水道工事	マンホールの緊急修理を行っています
	汚水枳設置工事	下水道工事	汚水枳の設置工事を行っています

保安施設標準様式図

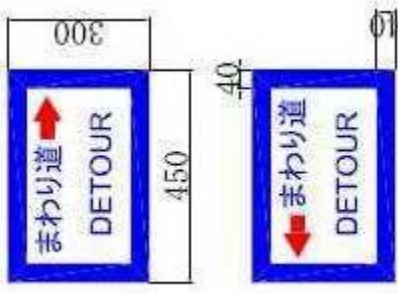
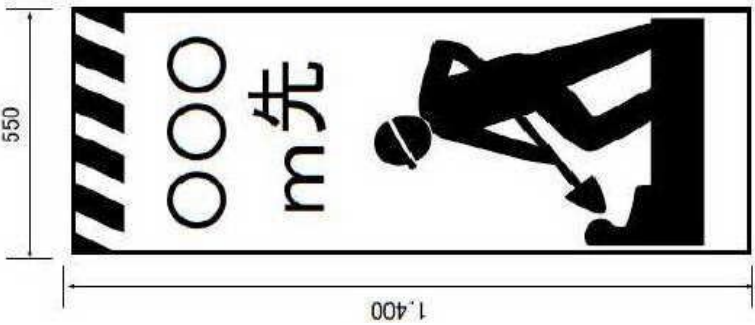
様式番号 (記号)	<1>	<2>	<3-1>
名称	警戒標識(工事中) (213)	警戒標識(工事中) 内部照明型	規制標識 (311-F) 指定方向外進行禁止
様式及び 標準寸法			
備考等	<p>(1) 夜間は内部照明対応とする</p> <p>(2) 転倒しないように留意して設置すること</p>	<p>(1) 内部照明とし、矢印は順次点滅させる</p> <p>(2) 「○○工事中」には工事標示板と同じ標記とする</p>	<p>(1) 夜間は内部照明対応とする</p> <p>(2) 転倒しないように留意して設置すること</p>

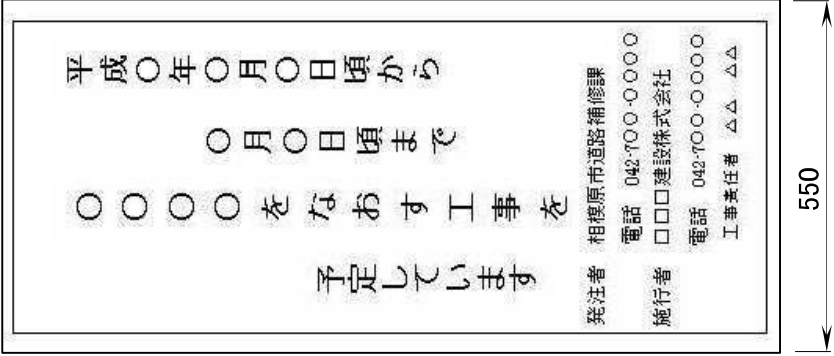
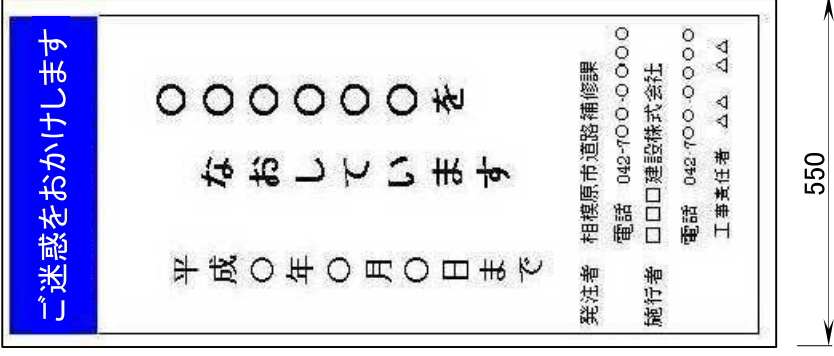
保安施設標準様式図					
様式番号 (記号)	<3-2>	<3-3>	<3-4>	<3-5>	<3-6>
名称	規制標識(徐行) (329)	規制標識(通行止め) (301)	規制標識(車両通行止め) (302)	規制標識(車両進入禁止) (303)	車線数減少(警戒標識) (211)
様式及び 標準寸法					
備考等	(1) 夜間は内部照明対応とする (2) 転倒しないように留意して設置すること	(1) 夜間は内部照明対応とする (2) 転倒しないように留意して設置すること	(1) 夜間は内部照明対応とする (2) 転倒しないように留意して設置すること	(1) 夜間は内部照明対応とする (2) 転倒しないように留意して設置すること	(1) 夜間は内部照明対応とする (2) 転倒しないように留意して設置すること

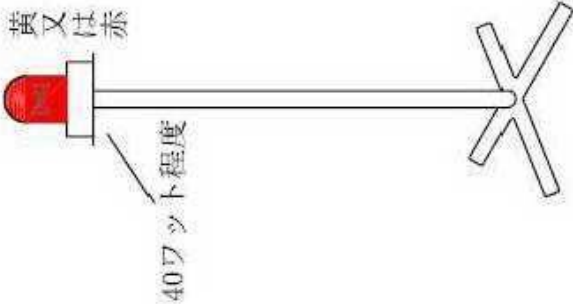

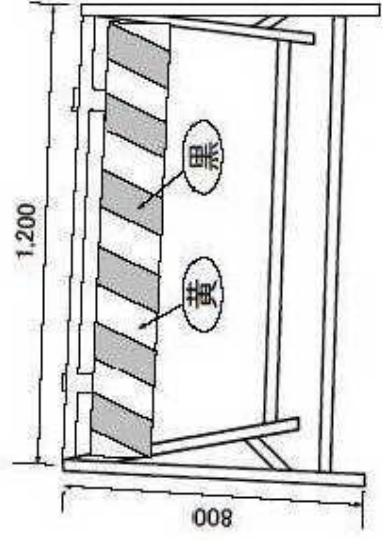
保安施設標準様式図				
様式番号 (記号)	<3-7>	<3-8>	<3-9>	<3-10>
名称	警戒標識(二方向交通) (211-2)	警戒標識(その他の危険) (215)	車線変更	幅員減少(警戒標識) (212)
様式及び 標準寸法				
備考等	(1) 夜間は内部照明対応とする (2) 転倒しないように留意して設置すること	(1) 夜間は内部照明対応とする (2) 転倒しないように留意して設置すること	(1) 夜間は内部照明対応とする (2) 転倒しないように留意して設置すること	(1) 夜間は内部照明対応とする (2) 転倒しないように留意して設置すること

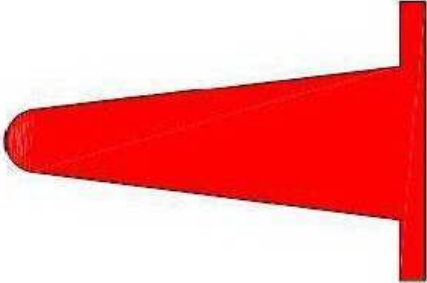
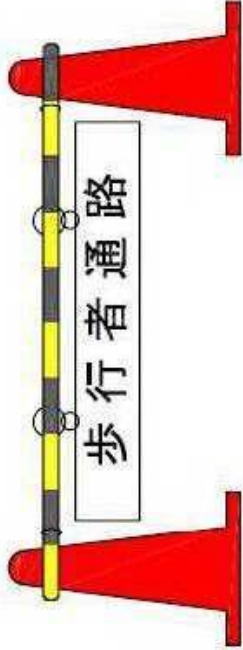


保安施設標準様式図	
様式番号 (記号)	<4>
名称	工事標示板(工事中)
様式及び 標準寸法	<div> <div>◇道路管理者が行う場合</div> </div>
	<div> <div>◇占用者が行う場合</div> </div>
備考等	<p>(1) 看板の素材は高輝度反射式または同等以上とする。</p> <p>(2) 〇〇〇は工事種別に応じた適切な表示を行う。</p> <p>(3) 色彩は「ご迷惑をおかけします」等のあいさつ文、「〇〇〇工事」等の工事種別は青地に白抜き文字とし、「〇〇」をなおしています」等の工事内容、工事期間は青色文字、その他の文字及び線は黒色、地は白色とする。</p> <p>(4) 緑の余白は2センチ、縁線の太さは1センチとする。</p>

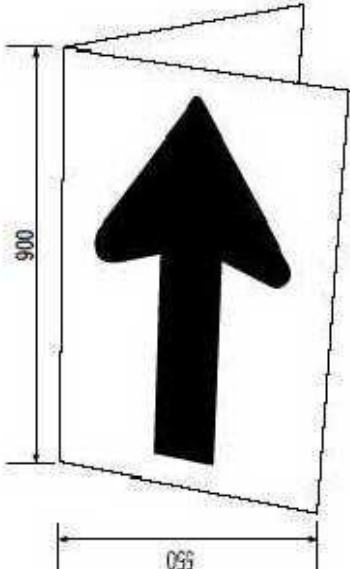


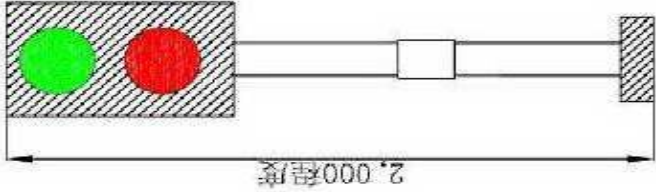
保安施設標準様式図	
様式番号 (記号)	<5>
名称	迂回路標示板
様式及び 標準寸法	<div> <div> <div>①</div> </div> <div> <div>②</div> </div> </div>
備考等	<p>配置については標示例を参照すること</p> <p>(1) 色彩は「矢印」を赤色、その他の文字を青色、地を白色とする。 (2) 縁の余白は2センチ、縁線の太さは1センチとする。 (3) 広域に迂回をさせる場合は②を使用すること。 (4) 「〇〇工事」の〇〇には、道路、下水、水道、ガス、電気、電話等を標示する。 (5) 迂回路標示板の矢印は、迂回できない方向に矢印をつけてはならない。</p>


保安施設標準様式図				
様式番号 (記号)	<6>	<7>		
名称	案合標識(まわり道) (120)	標示板(工事予告)		
様式及び 標準寸法			<p>必要に応じ、50m先、100m先 200m先に設置する</p>	
備考等	<p>(1)夜間対応は高輝度反射式 または内部照明とする。 (2)転倒しないように留意して 設置すること</p>	<p>(1)夜間対応は高輝度反射式 または内部照明とする。 (2)転倒しないように留意して 設置すること</p>		

保安施設標準様式図		
様式番号 (記号)	<8>	<9>
名称	工事情報看板	工事説明看板
様式及び 標準寸法		
備考等	<p>※ 短期間で完了する簡易な工事、道路の幅員が狭いなどの場合は様式番号<4>の工事標示板に変えることができる</p> <p>占用工事(承認工事)の場合は下端に相模原市指令番号を記載すること</p>	
	<p>(1) 色彩は「ご迷惑をおかけします」等のあいさつ文、「〇〇〇工事」等の工事種別は青地に白抜き文字とし、「〇〇をなおしています」等の工事内容、工事期間は青色文字、その他の文字及び線は黒色、地は白色とする。</p>	
	(2) 工事期間は交通上支障を与える期間の内、工事開始及び工事終了日を標示する。	(2) 工事期間は交通上支障を与える期間の内、工事終了日を標示する。
	(3) 現場付近の歩道と車道を分離するガードレール等に運転手から看板の内容が見えないように、建築限界を守って堅固に設置する。	
	(4) 道路工事を開始する約1週間前から道路工事を開始するまでの間、設置する	(4) 道路工事開始から道路工事終了までの間、設置する。
	(5) 看板の素材は高度な視認性を確保できるものとする。	

保安施設標準様式図			
様式番号 (記号)	<10-1>	<10-2>	<10-3>
名称	注意灯	保安灯(単柱式)	バリケード
様式及び 標準寸法			
備考等	(1) 灯器の大きさ、光度がこれと同等以上の効果があるもの (2) 回転式または点滅式		
	必要に応じて、重し等により転倒防止を図ること		

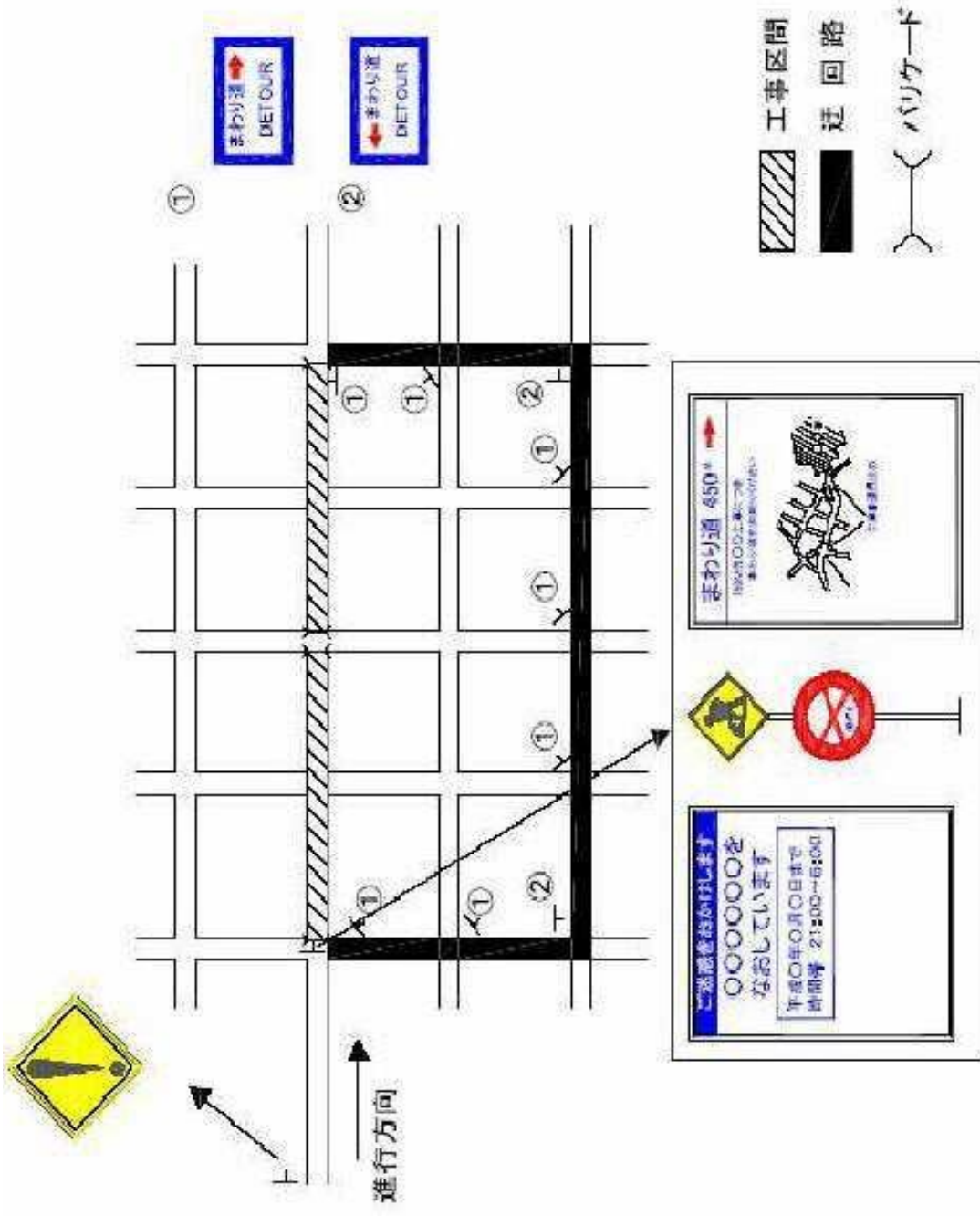
保安施設標準様式図				
様式番号 (記号)	<10-4>	<10-5>	<11-1>	<11-2>
名称	カラーコーン	カラーコーンバナー等	段差予告	段差標示
様式及び 標準寸法				
備考等	必要に応じて、重し等により転倒防止を図ること	必要に応じて、重し等により転倒防止を図ること	(1) 現場の状況に応じ設置する (2) 夜間は内部照明とする	(1) 50mから150m手前に設置する (2) 夜間は内部照明とする

保安施設標準様式図				
様式番号 (記号)	<11-3>	<11-4>	<11-5>	<11-6>
名称	矢印板	歩行者通路標示	停止線標示	信号機
様式及び 標準寸法				
備考等	(1) 現場の状況に応じ設置する	(1) 現場の状況に応じ設置する	(1) 現場の状況に応じ設置する	(1) 設置にあたっては、所轄警察署と協議する (2) 転倒防止を図ること

保安施設標準様式図				
様式番号 (記号)	<11-7>			
名称	速度落とせ			
様式及び 標準寸法				
備考等	(1)夜間は内部照明対応とする (2)転倒しないように留意して設置すること			

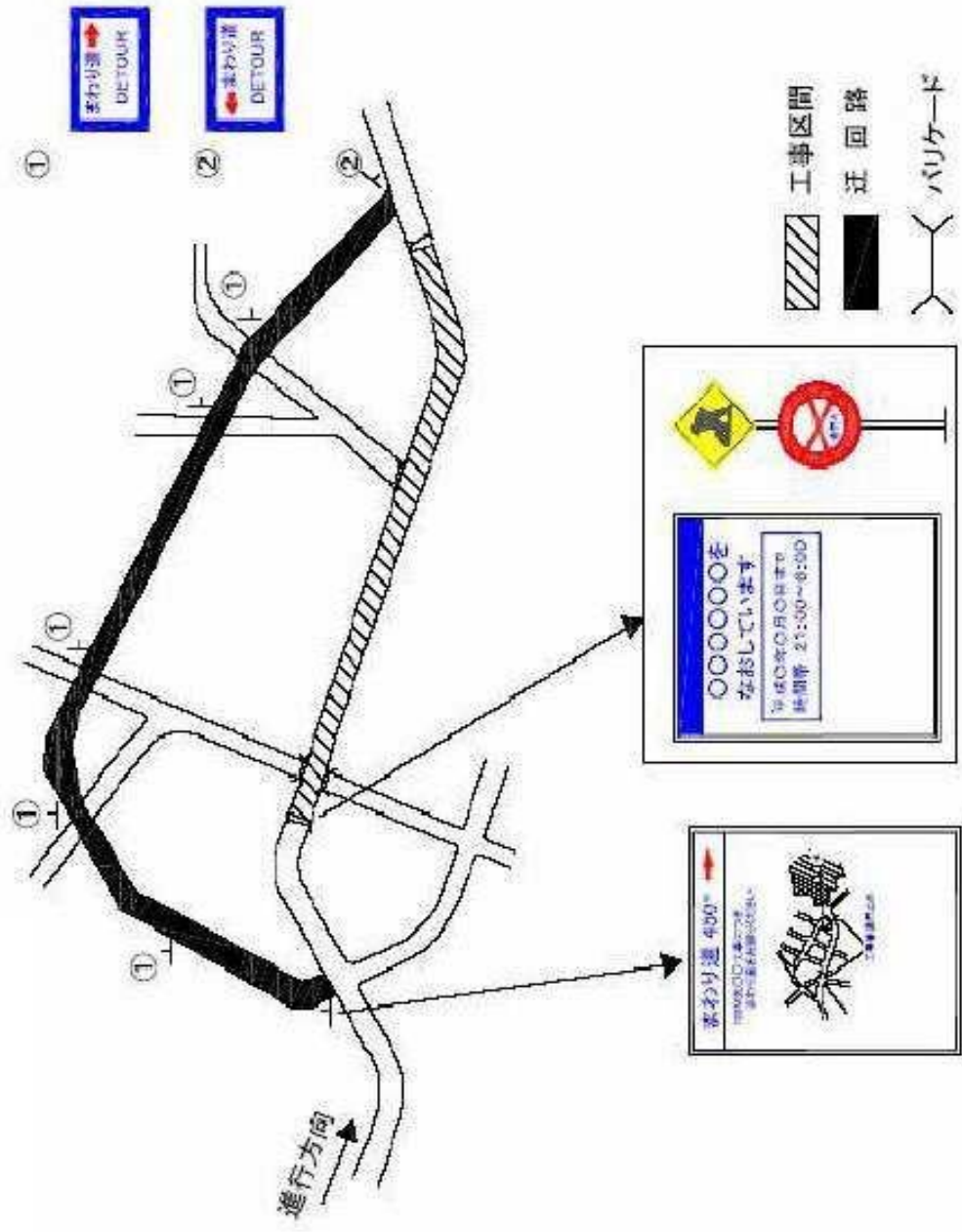
＜参考図 1＞ 工事迂回路の標示例（市街地の場合）（進行方向に対する標識の設置例）

迂回路の設定及び交通整理員の配置については、所轄警察署と協議すること。



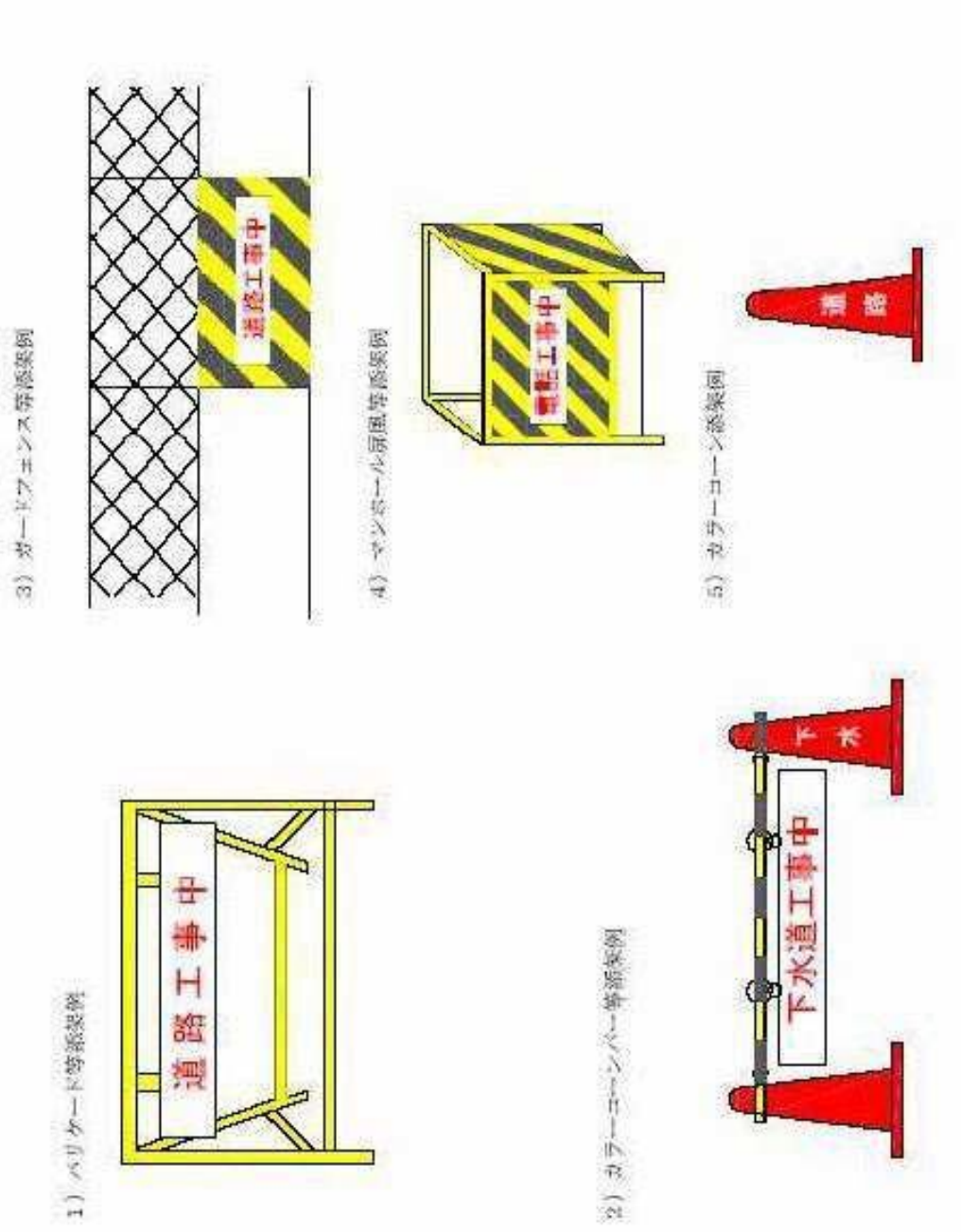
＜参考図2＞ 工事迂回路の標示例（広域に迂回させる場合）（進行方向に対する標識の設置例）

迂回路の設定及び交通整理員の配置については、所轄警察署と協議すること。

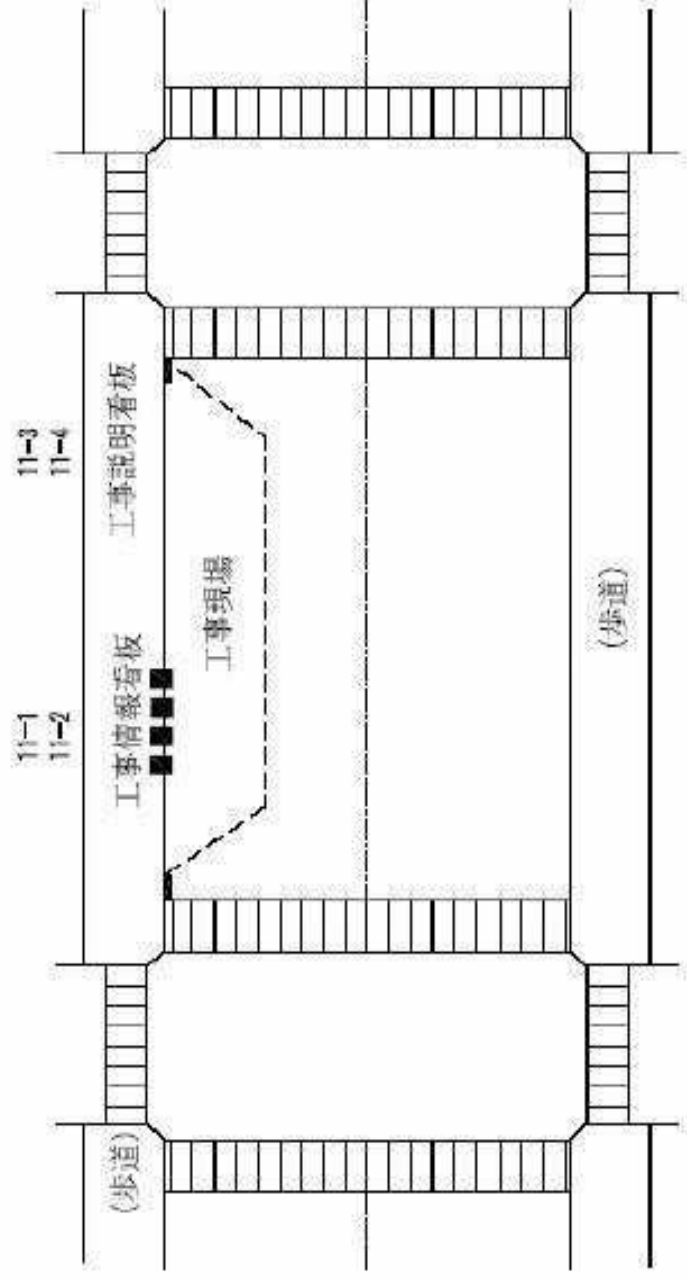


＜参考図 3＞ 工事種別の標示板設置例

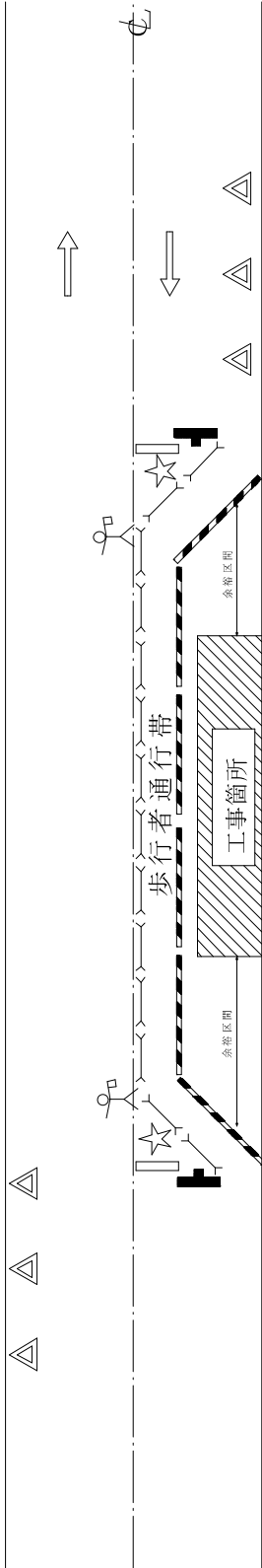
工事種別を明確にするために必要に応じて、工事種別標示板を保護柵、誘導施設等に添加する。
文字は赤色とし、全面高輝度反射シート等により、夜間視認できる材質で標示する。



＜参考４＞ 工事情報看板及び工事説明看板の設置例



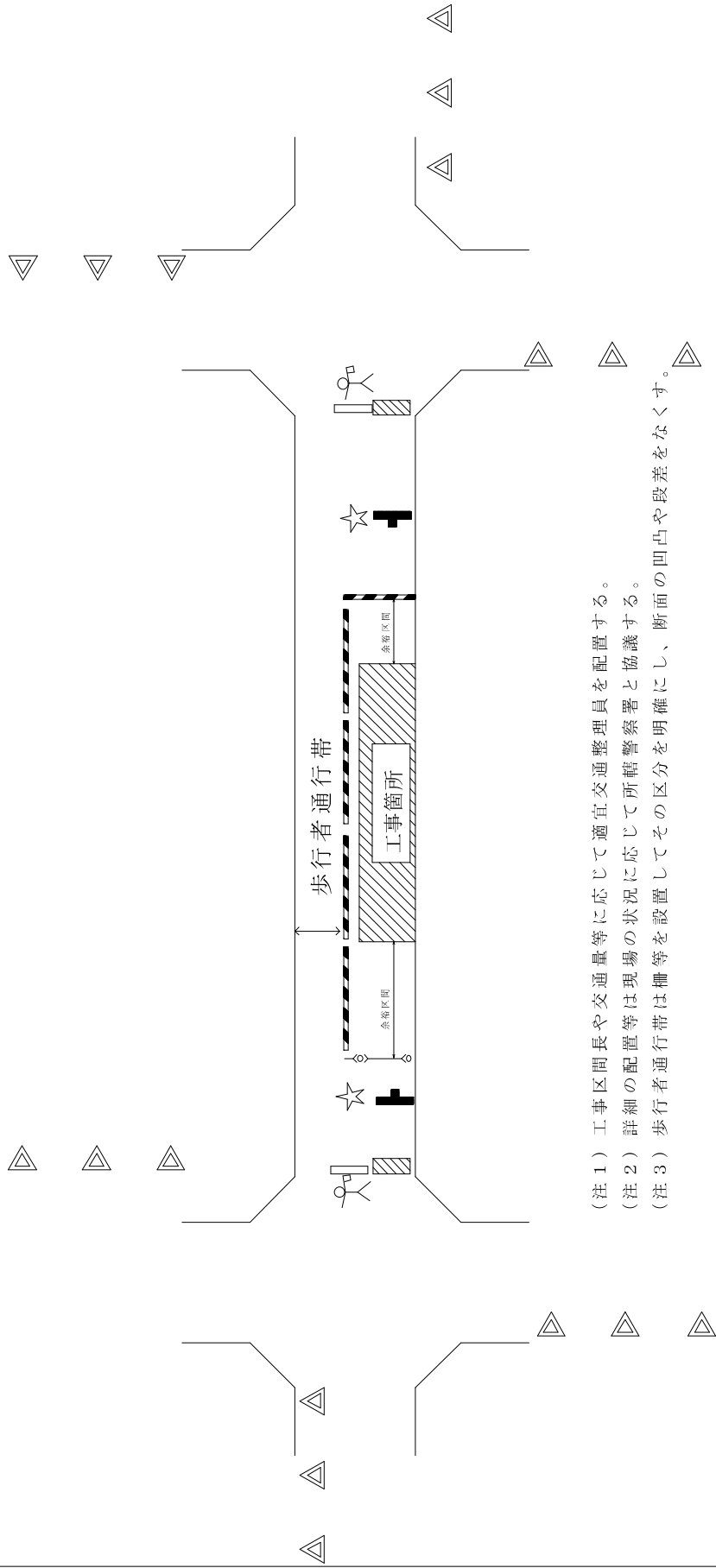
＜参考図 5＞ 保安施設の配置例（片側交互交通可の場合）



- （注 1）工事区間長や交通量等に応じて適宜交通整理員を配置する。
- （注 2）詳細の配置等は現場の状況に応じて所轄警察署と協議する。
- （注 3）歩行者通行帯は柵等を設置してその区分を明確にし、断面の凹凸や段差をなくす。
- （注 3）歩行者通行帯は柵等を設置してその区分を明確にし、断面の凹凸や段差をなくす。

	ネット付保安柵	☆	回転灯		警戒標識
	バリケード	○	保安灯（赤色）		セーフティコーン
	交通整理員		規制・警戒標識		車両進行方向
	予告板		工事標示板		迂回路看板

＜参考図 6＞ 保安施設の設置例（車両通行止めの場合）



ネット付保安柵	☆	回転灯	□	警戒標識
バリケード	○	保安灯（赤色）	●	セーフティコーン
交通整理員	人	規制・警戒標識	⇐	車両進行方向
予告板	△	工事標示板	▨	迂回路看板

＜参考図 8＞ 保安施設の設置例（歩道工事、通常工事の場合）

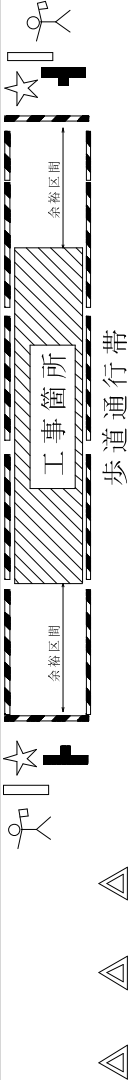
歩道

歩道



歩道

歩道



- (注 1) 工事区間長や交通量等に応じて適宜交通整理員を配置する。
- (注 2) 詳細の配置等は現場の状況に応じて所轄警察署と協議する。
- (注 3) 歩行者通行帯は柵等を設置してその区分を明確にし、断面の凹凸や段差をなくす。

	ネット付保安柵	☆	回転灯	□	警戒標識
	バリケード	○	保安灯（赤色）	●	セーフティコーン
	交通整理員		規制・警戒標識		車両進行方向
	予告板		工事標示板		信号機

＜参考図 9＞ 保安施設の設置例（歩道工事、通常工事の場合）

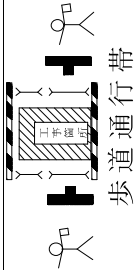
歩道

歩道



歩道

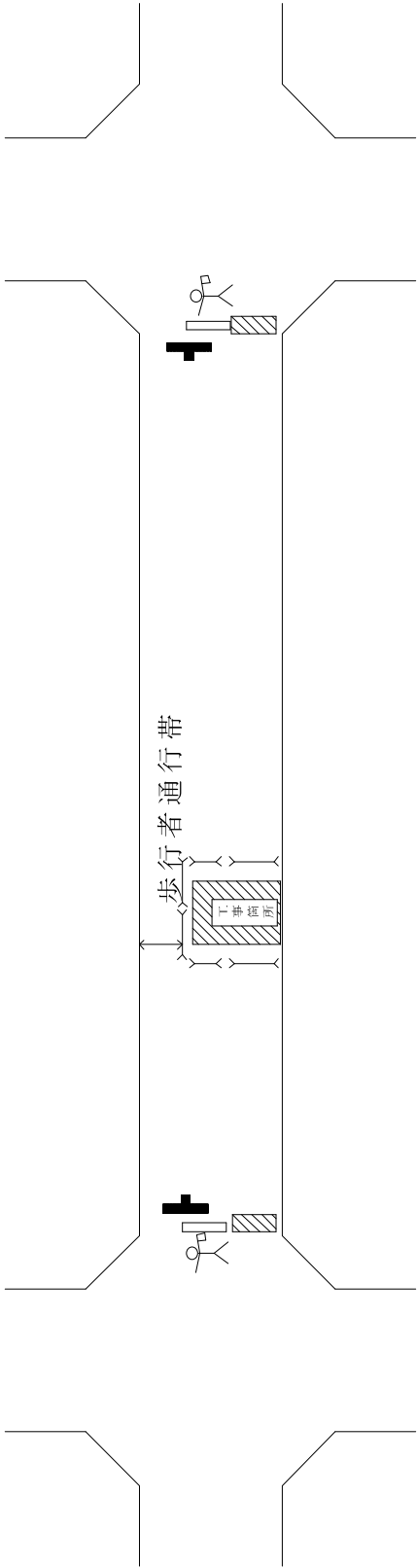
歩道






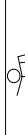





- (注 1) 工事区間長や交通量等に応じて適宜交通整理員を配置する。
- (注 2) 詳細の配置等は現場の状況に応じて所轄警察署と協議する。
- (注 3) 歩行者通行帯は柵等を設置してその区分を明確にし、断面の凹凸や段差をなくす。

	ネット付保安柵	☆	回転灯		警戒標識
	バリケード	○	保安灯（赤色）	●	セーフティコーン
	交通整理員		規制・警戒標識		車両進行方向
	予告板		工事標示板		信号機

＜参考図 10＞ 保安施設の設置例（取付管等の簡易工事で車両通行止めの場合）



- (注 1) 工事区間長や交通量等に応じて適宜交通整理員を配置する。
- (注 2) 詳細の配置等は現場の状況に応じて所轄警察署と協議する。
- (注 3) 歩行者通行帯は柵等を設置してその区分を明確にし、断面の凹凸や段差をなくす。

	ネット付保安柵	☆	回転灯		警戒標識
	バリケード	○	保安灯（赤色）	●	セーフティコーン
	交通整理員		規制・警戒標識		車両進行方向
	予告板		工事標示板		迂回路看板